



平成24年6月28日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
代表取締役社長 縣 将貴
(コード番号：3390)
問合せ先 広報・IR部
電話番号 03-6892-3864

決算発表資料の追加(継続企業の前提に関する重要事象等)

平成24年3月期決算短信について、平成24年5月17日以降に、下記の通り追加がありましたのでお知らせいたします。

記

添付資料「1.経営成績」に下記を追加いたします。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度において重要な営業損失(517百万円)及び当期純損失(907百万円)を計上した結果、純資産が236百万円(前連結会計年度末1,189百万円)となり、また、前期に引き続き営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなったことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると認識しております。

当該状況を解消すべく、当社グループでは下記の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

収益面につきましては、当社グループは、当連結会計年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)において多額の損失を計上しており、現在、経営の立て直しと業績の早期回復を行うために、収益が見込める事業への経営資源の集中、人件費低減やオフィス集約による家賃削減等のコスト削減などを行っております。

今期大幅に収益が悪化した教育人材事業の教育・採用事業(派遣事業を除く)からの撤退、主要クライアントとの一部契約の終了により今後収益獲得が難しいコールセンター事業からの撤退をし、収益力があるシステム事業、直販事業、人材事業への特化を行ってまいります。

システム事業については、ASP事業における顧客への展開、サービス・商品の開発、「売上・予約・顧客」などの管理システムに加え、スマートフォン・タブレット端末を利用した店舗ソリューションの開発強化を進め、顧客単価の増加、新規顧客の獲得による収益の拡大を行ってまいります。直販事業については、携帯電話・コピー機などの法人向けのソリューションサービスの販売に加え、スマートフォン・タブレット端末を利用した店舗ソリューションサービスの販売・提供を行ってまいります。人材事業については、主に人材の派遣、Eラーニングシステム「F-PLAT」の展開を行い、人材派遣については、既存顧客との安定した売上・粗利益を維持していき、新規顧客の開拓にも積極的に取り組んでまいります。

資金面につきましては、当面の運転資金は確保できておりますが、保有している金融資産等の売却や新たな資金調達も視野に入れて検討しております。

以上